

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第10回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年7月10日（金）に第10回研修を開催しました。今回は、雫石町柗平の株式会社みのり片子沢へ視察研修のほか、南畑コテージむらの実習ほ場において、実習野菜の管理作業を行いました。

視察先の株式会社みのり片子沢では、専務の三宅博人氏から経営概況や異業種から就農・移住された経緯を伺いました。さらに施設内をご案内いただき、設備や農機具の説明のほか、りんどうのほ場では、雫石町におけるりんどう栽培の現状について詳しくお話をいただきました。受講生はプロの技術や熱い想いに真剣に耳を傾け、積極的に質問を重ねるなど、それぞれの目指す農業に向けて大変有意義な時間となりました。

その後は、南畑コテージむらの実習ほ場に戻

り、実習野菜の管理作業などで汗を流しました。パイプハウスでのトマトの収穫をはじめ、露地ほ場でのなす・ピーマンの支柱立て、ズッキーニの収穫、にんじんの間引き及びさといもの追肥・土寄せのほか、三角ホーを使つての畝周りの除草を行いました。当日は厳しい暑さのため、日除けの下で十分な休憩を挟みつつ作業を進めましたが、少しの時間も無駄にせず学ぼうと休憩を惜しんで作業にあたる受講生もあり、研修への強い意識が伺えました。今後も熱中症には十分留意して研修を実施して参ります。

次回の第11回研修は、7月24日（金）・25日（土）に雫石町南畑コテージむらにおいて、外部講師から、岩手の花き栽培についての講義などを実施する予定です。



株式会社みのり片子沢の経営概況等について
お話しする講師の三宅氏



りんどう栽培ほ場視察の様子



にんじんの間引きをする受講生



さといもへの追肥・土寄せ作業の様子